

# 令和6年度 総務常任委員会行政視察報告書

令和7年2月20日(木)

◇視察日程 令和7年2月6日(木)～7日(金)

◇出席者 永田委員長、加藤副委員長、望月委員、松井委員、小林委員  
執行部 総合政策部長、議事課長

1. 東京都立川市大山自治会 〈一日目〉 2月6日(木) 午後2時～4時

## (1) 視察内容

幅広い世代が参加する自治会活動の実践について

住民に必要とされる自治会づくり

講師・佐藤良子 相談役の83歳とは思えない熱意と勢いに圧倒されました。また、当方の質問に、よどみなく即座にお答えくださいました。

(2) 大山自治会の概要 5階建て～10階建て26棟のマンモス団地

自治会員数 1,600 世帯 人口 4,000 人 自治会加入率 100%

自治会費 1世帯1カ月400円 管理費1世帯1カ月1,500円

## (3) 大山自治会の主な活動

### ① 自治会だより毎月一回の発行

向こう三軒両隣の精神で数々の自治会活動や情報共有を図ることで、お互いさまのコミュニティのつながりを実現している。

② あいあいパトロール隊 自分たちの地域は自分達で守ろうの、意気込みで、「空き巣」「車上荒らし」「子どもたちや女性を狙った犯罪」の抑制のために見守りを続ける。

③ 生ごみの分別により家庭ごみのうち、約40%以上が生ごみ、約20%以上が資源と、分別を通じて団地内のコミュニティ意識が高まる。

④ 自治会葬 自治会役員が葬儀社に掛け合うことで団地内での葬儀費用を低く抑えることができる。

- ⑤ **相談窓口の設置** (24 時間対応)  
事務所対応 (月)(水)(金) 9:00~15:00 (土) 9:00~12:00
- ⑥ **子育て支援センター** 大山 MSC ママさんサポートセンターの設立  
児童虐待防止、一時保護、子育ての相談、(24 時間対応)
- ⑦ **防災・防犯組織の強化** 防災組織構成 (防災訓練で強化)  
防災連絡委員の強化、看板設置
- ⑧ **イベント交流** 年間のイベント、総会、運動会、夏祭り、  
防災ウォークラリー大会
- ⑨ **高齢者・障がい者の見守りネットワーク** 高齢福祉課、民生委員と  
連携 65 歳以上、車椅子利用や聴覚障害者を把握する活動などや、  
**孤独死を無くすため**

◎ 電力会社、ガス会社、水道局に協力を依頼することで、  
使用量が急に減るなどや、新聞・牛乳などの宅配店の協力のもと、わ  
ずか半日でも商品が受け取られないままになっていたら、異変の兆候  
とみなす徹底さにより 20 年間孤独死ゼロを実現されている。

### 【考察】

住民に必要とされる自治会づくり「人を助け 人に助けられる 自治会で  
ありたい」のスローガンそのもので、長きにわたり辛抱強く活動された成果  
が随所に見られます。

湖南省も大山自治会の活動や、成果を参考にする価値が大いにあるかと思  
います。

## 2. 神奈川県秦野市議会〈二日目〉

2月7日(金)午前10時～正午

### ○議会の災害対応について(議会災害時行動マニュアルに、基づいた実施事例及び訓練など)

(1) 災害時等行動マニュアルに沿って、的確に行動できるように、市内で震度7の地震が発生し、市の災害対策本部を立ち上げたという想定のもと訓練を行っているとの説明を受ける、また災害時は、固定電話が使用できない可能性がある。

(2) 初動体制について共通認識を持つ、また参加される本人も災害時には全員地域で直接被害を受けるため、家族の安全確保の優先など、議会局と連絡体制を確保。いざという時の連絡手段、を構築

災害用伝言ダイヤルを使うなど。申し合わせができています。

### ○秦野市総合防災情報システムの運用状況について

(1) 災害情報、被害状況や自分が避難所へ行く近い場所、避難所の混雑状況などを手元のスマートフォン、タブレット、パソコンなどで確認でき提供される情報がリアルタイムで更新されているなど。

運用開始以降は、職員向けの操作研修や、高齢者向けにシステムの操作研修ということで、スマートフォンとかタブレットで、見ることができる研修を毎年行っているとのこと。

**【考察】** 議会災害時行動マニュアルに基づいた訓練や、災害を想定した訓練の実施など、不測の事態に備えた意識改革がなされていることや、災害情報システムの効力をあげるため、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの操作研修を、職員はもちろん、高齢者などに、毎年行い、情報伝達が隅々に届くよう心掛けていることが、住み良い秦野市を目指す、最大の特徴で住みよいまちづくりを、感じました。